

# 北方圏農学科

## 1. 教育研究上の目的

本学科は、北方圏を含む中～高緯度地域の陸圏における豊かな自然資源の成り立ちを理解し、優れた生物生産を実現するための知識を体系的に学び、持続的な資源利用や生産力の向上、新規生物資源の開発、生態系の保全に寄与する研究を行う。地域的な視点と国際的な視点を併せ持つ、持続的循環型社会の構築に貢献する人材を養成する。

## 2. 教育目標

北方圏農学科は、その教育研究上の目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 陸圏領域における生物生産科学についての深い探求心を有する者
- (2) 生物資源の生産（生物生産）や生態系保全に係わる課題を主体的に解決する力を有する者
- (3) 生物生産や生態系保全に関する専門的知識のみを有するのではなく、市民社会との連携を取ることのできる者

## 3. ディプロマ・ポリシー

北方圏農学科は、北海道の広大な生産現場と豊かな自然に囲まれた環境において、食料生産と自然環境との調和をテーマに、体験による学びを通じて持続的循環型社会の構築に貢献する実践力のある人材の養成を目的としています。このために、実験と実習を重視した体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 食料生産と自然環境との調和を実践するための基礎となる自然科学と人文・社会科学の領域を含む文理融合の幅広い視点を有している。
- (2) 生物や自然環境の保全と管理に関する基礎的な知識を有し、またそれらに関わる現象を解析する技術を身につけている。
- (3) 生物生産や生態系保全に関する課題を設定し、収集した情報やデータに基づいて論理的に課題解決への道筋を思考することができる。
- (4) 他者に自身の考えを伝えるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけている。

#### 4. カリキュラム・ポリシー

北方圏農学科は、生物資源の生産、加工、経営と人の営みを一貫して学ぶための学部共通科目とともに、実験と実習を重視した専門教育科目の体系的な履修を通してディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるために以下の方針のもとに教育課程を編成します。

- (1) 文理融合の幅広い視点を醸成するための人文・社会科学の領域を含む基礎科目を配当するとともに生物生産と生態系保全に関わる専門的な知見を得るための専門科目を配当する。
- (2) 生物資源が豊富な学部の立地を活かして、地域の生物資源を取り入れた基礎から応用までの実験実習および演習科目を配当する。
- (3) 生物生産や生態系保全に係る課題に関する国内外の情報を客観的に分析し、解決に繋げられる能力を習得するための科目を配当する。
- (4) 自身の調査・研究成果を発表するためのプレゼンテーションとディスカッションのスキルを学ぶ科目を配当する。

#### 5. アドミッション・ポリシー

北方圏農学科は、文理融合の学びを通して生物資源の生産、加工、経営と人の営みに関する知識と専門性を持った人材を養成するという学部共通の目的を基盤とし、北方圏を含む中～高緯度地域の陸圏における豊かな自然を題材にした実験実習と専門教育科目、卒業論文作成を通して生物生産の現場における課題の解決と持続的循環型社会の構築に向けて、他者と協働して取り組むことのできる実践力を備えた人材を養成します。そのために次のような学生を求めています。

- (1) 広い視野に立って地域や社会に貢献する意思を持ち、明確な問題意識と問題解決に対する意欲を有している。
- (2) 積極的に北方圏農学を学ぶ意欲を有している。
- (3) 仲間と地域の人々との調和を大切にし、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力と他者と協働できる能力を有している。
- (4) 北方圏農学を学ぶ上で必要な「英語」、「国語」、「数学」、「生物」および「化学」の基礎学力を修得している。